

## 一羊館の「話し合いの3原則」の再確認

### 老人保健施設一羊館の理念

利用者の方々にすべてに尊厳・安心・満足を！

### 一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。

私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。

私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。

### 話し合いの3原則

- 1：相手の意見は否定しないでしっかり聞きます。
- 2：自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現でいいます。
- 3：正解は一つでないことを自覚して自制します。

新緑が美しい、爽やかな季節になりました。この気候の良い時期にアウトドアで楽しんだり、いろいろなことにチャレンジしたり、英気を養ったりと、快適に過ごされることを願っています。

さて、先月は、「一羊館の理念、行動指針の再確認」についてお話ししました。

今回は、その続きで、「話し合いの3原則」について、再確認していただきたいと思い、お話しすることにしました。これは、前施設長の桑原先生が作られた3原則です。

まず、「しっかり聞くこと」が最も重要です。「話し方において一番大切なことは、聞くことである」ということです。（話し方は「聞き方が9割」：永松茂久著「人は話し方が9割」から）

次に、「否定しない（否定すると、自由に発現するモチベーションを奪ってしまう。大切なことは、意見や感想がどんどんでてくる場にすること）」、「ポジティブ表現（前向きな話は人を元気にします。人をほめること、感動した話をする、現状をよくしようとするなど）」が大事です。表現の中には、「うなずく」なども大事な所作です。

最後に、医療や介護の場では、いろいろな状況があり、どれが正解かわからないことが多々あります。画一的ではないとも言えます。それを考慮して聞きます、話します。

以上のことを時々思い出しては、話し合いに活用してください。

